

2026年度 愛知学泉大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|---|--|---|------------------|---|-----|--------|---------|
| 330441113 | 小学家庭 Home Economics of Primary School | 熊崎 稔子 | | | 1 | 選択 | 4前期 |
| 科目の概要 | | | | | | | |
| 小学校家庭科では、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成することを目指している。本科目では、「家庭科研究」および「家庭科教育法」で学んだことを応用し、児童の生活がより豊かになるための実践ができるようになること及び「生きる力」を身につけることを目的とする（DP1・3・5）。 | | | | | | | |
| 学修内容 | | | | 到達目標 | | | |
| ① 学習指導要領（平成29年告示）家庭編の目標や内容を理解する。 ② 家庭科教育の特性をふまえて教材研究し、その上で学習指導案の作成をする。 ③ 応用的な指導技術を身につけるため、被服・調理実習をする。 | | | | ① 小学校学習指導要領（平成29年告示）家庭編の目標や内容を説明することができる。 ② 家庭科教育の特性をふまえて教材研究し、その上で学習指導案の作成をすることができる。 ③ 被服・調理実習によって、応用的な指導技術を身につけることができる。 | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。 | | | | | |
| | 働きかけ力 | | | | | | |
| | 実行力 | 課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。 | | | | | |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 | | | | | |
| | 計画力 | | | | | | |
| | 創造力 | 物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。 | | | | | |
| チームで働く力 | 発信力 | 整理した内容を的確なことばや文章で表現できる。 | | | | | |
| | 傾聴力 | グループワークで、他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 | | | | | |
| | 柔軟性 | | | | | | |
| | 状況把握力 | | | | | | |
| | 規律性 | 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。 | | | | | |
| | ストレスコントロール力 | | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | | |
| 「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 家庭編」文部科学省 「わたしたちの家庭科5・6」開隆堂 | | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | | |
| 他科目との関連：「小学家庭」は専門科目の小学校領域に配置されており、「家庭科教育法」で獲得した知識・技術を活用する。 資格との関連：小学校教諭一種 | | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | | 受講生とのルール | | | |
| ・愛知県総合教育センターに掲載されている学習指導案を参考にするとよい。 ・配布プリントはファイルに綴じて整理すること。 ・食物アレルギーがある場合は、必ず申告すること。 | | | | ・遅刻は20分以内とする。3回遅刻で1回欠席になる。 ・実習に必要な費用を別途徴収する。 ・模擬授業で必要なものは全て各自で準備すること。 | | | |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | | |
|-----------------------|--------------|--------------------|-------|------|---|---|---|--|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 0 | ① | | | | |
| | | | | ② | | | | |
| | | | | ③ | | | | |
| | | | | | | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | | 0 | ① | | | |
| | | | | | ② | | | |
| | | | | | ③ | | | |
| | | | | | | | | |
| | | レポート | | 50 | ① | | ✓ | <ul style="list-style-type: none"> ・授業時のワークシートを評価する。 ・模擬授業時に提出した学習指導案および修正した学習指導案を評価する。 ・被服・調理実習のレポートを評価する。 【獲得】 学習指導要領の家庭科の目標についての理解している：10% 【活用】 学習指導要領に基づいて学習指導案を作成することができる：20% 【解決】 被服・調理実習から児童が家族の一員としてよりよい生活に繋げる指導ができる：50% |
| | | | | | ② | | ✓ | |
| ③ | | | | | ✓ | | | |
| | | | | | | | | |
| 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | | 40 | ① | ✓ | <ul style="list-style-type: none"> ・教材研究の発表を評価する。 ・教材研究による成果物を評価する。 【獲得】 日常生活の課題を調査し、説明することができる：10% 【活用】 日常生活の課題の改善方法を理論的に考えることができる：20% 【解決】 日常生活の課題について、改善前と改善後を比較し、結果をプレゼンテーションで発表することができる：50% | | |
| | | | | ② | ✓ | | | |
| | ③ | | | ✓ | | | | |
| | | | | | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | 10 | ① | | <ul style="list-style-type: none"> （主体性） 到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くとも、課題を自ら見つけて取り組むことができる。 （実行力） 課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。 （課題発見力） 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （創造力） 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。 （発信力） 整理した内容を的確な文章で表現できる。 （傾聴力） グループワークで、他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 （規律性） 遅刻、居眠り、私語、など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。 | | | |
| | | | ② | ✓ | | | | |
| | | | ③ | ✓ | | | | |
| | | | | | | | | |
| 総合評価割合 | | | 100 | | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|---|---|
| <p>S：学習指導案の作成において、講義で学んだポイントを最大限活用し、自分の言葉で十分に詳述することができる。被服・調理実習のレポートが大変優れている。</p> <p>A：学習指導案の作成において、講義で学んだポイントを活用し、おおむね自分の言葉で詳述することができる。被服・調理実習のレポートが優れている。</p> | <p>B：学習指導案の作成において、講義で学んだポイントがある程度活用し、自分の言葉で詳述することができる。被服・調理実習のレポートがまとめられている。</p> <p>C：学習指導案の作成において、講義で学んだポイントを一部活用し、自分の言葉で詳述することができる。被服・調理実習のレポートが期日までに提出できている。</p> |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|----------------------------------|-------------------------------|--|---|-------|---|
| 1 | オリエンテーション 現代の食事における課題について | 講義 グループワーク フィードバック | 子どもを取り巻く食環境について、良い点と悪い点を説明することができる。 | <予習>小学生の生活に関する調査結果を収集する。 <復習>小学生の生活の変容をまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 規律性 |
| 2 | エコクッキング① 効率のよい調理 | 実習 グループワーク | 環境に配慮した調理について説明することができる。 | <予習>現代の環境問題について調べる。 <復習>エコクッキングから学んだこと、児童に伝えたいことをレポートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 規律性 |
| 3 | エコクッキング② 材料を腐らせない工夫、廃棄を減らす工夫 | 実習 グループワーク | 食材を | <予習>エコに配慮した調理や後片付けについて調べる。 <復習>エコクッキングを教材研究するための授業方法を考え、レポートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 規律性 |
| 4 | 災害時の備えについて | 講義・動画視聴 グループワーク フィードバック | 災害時の状況をイメージし、家庭での備えについて考え、家族と話しあうことができる。 | <予習>東北や熊本、能登の災害について調べる。 <復習>災害時の対応についてまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 規律性 |
| 5 | 災害時の食事作り | 実習 グループワーク フィードバック | ポリ袋でご飯や惣菜を作ることができる。備蓄食品で料理を作ることができる。 | <予習>ポリ袋クッキングについて調べ、まとめておく。 <復習>自宅でポリ袋を実践する。 | 180 | 主体性 実行力 規律性 |
| 6 | 栄養バランスを考えたお弁当作り① 3・1・2弁当箱法 | 講義 グループワーク | 3・1・2弁当箱法と栄養バランスの関係について理解できる。 | <予習>3・1・2弁当箱法について調べる。 <復習>五大栄養素と働き、主な食品についてまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 7 | 栄養バランスを考えたお弁当作り② 3・1・2弁当箱法の実践 | 実習 グループワーク フィードバック | 主食、主菜、副菜の適量を視覚で確認することができる。 | <予習>主菜、副菜にどのような料理があるのかまとめる。 <復習>3・1・2弁当箱法のルールに従ってお弁当作りをする。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 8 | 学習指導案の作成 第2～7週の授業内容から作成する | 演習 グループワーク フィードバック | 児童の学習意欲を高められる授業計画を立てることができる。 | <予習>学習指導要領の目標を熟読する。 <復習>グループワークで指摘された内容をもとに、学習指導案を修正する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|---|--|--|---|-------|---|
| 9 | 小物作り① | 実習 | 「わたしたちの家庭科」の写真や図を理解し、小物を作ることができる。 | 〈予習〉製作物を考え、必要な物を用意する。作り方をまとめる。 〈復習〉授業で進めたところまでのタイムスケジュールを作成する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 10 | 小物作り② | 実習 | 「わたしたちの家庭科」の写真や図を理解し、小物を完成させる。 | 〈予習〉本時の進めるところを、まとめる。 〈復習〉小物作りの過程とポイントをレポートにまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 11 | よごれを落とす工夫① 衣服のよごれについて科学的に学ぶ 衣服のよごれを手洗いで落とす | 講義 実習 | 衣服のよごれについて科学的に理解する。よごれに応じて洗い方を工夫することができる。 | 〈予習〉衣服のよごれについて調べる。 〈復習〉衣服のよごれを落とす工夫についてまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 12 | よごれを落とす工夫② 住居のよごれについて科学的に理解する。 工夫した道具を用いて掃除をする。 | 講義 実習 | 住居のよごれについて科学的に理解する。工夫した道具を用いて掃除をすることができる。 | 〈予習〉場所による掃除の違いについて調べる。 〈復習〉掃除をする際によごれを落とす工夫についてまとめる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 13 | 学習指導案の作成 第9～12週の授業内容から作成する | 演習 グループワーク フィードバック | 児童の学習意欲を高められる授業計画を立てることができる。 | 〈予習〉学習指導要領の目標を熟読する。 〈復習〉グループワークで指摘された内容をもとに、学習指導案を修正する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 14 | 「わたしたちの家庭科」p.99の献立を児童に指導するための資料作成 | 動画視聴 指定されたwebを閲覧する (Webは授業時に説明する) 個別学習 レポート (資料) 作成、フィードバック | 小学6年生を対象として、理解しやすい資料を作成することができる。 | 〈予習〉「わたしたちの家庭科」p.99の献立のレシピを調べる。 〈復習〉実際に作り、分量や味付けについて振り返る。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 15 | レポート発表 | 講義 質疑応答にてフィードバック | 他者の発表に対して、建設的なコメントができる。 発表時は、他者からの質問に対して適切な回答ができ、コメントから計画などを修正することができる。 | 〈予習〉レポートを発表できるようにする。 〈復習〉他者のコメントからよりよいレポートとなるように修正する。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力